



アクテイブ
マネジメント・
公明クラブ
松浦昌巳

有機栽培推進に向けた支援対策を

Q 茶の販売戦略の一環で、輸出を考えた有機栽培を推進するにあたり、知識や技術支援に合わせ有機認証機関の助成金等支援を考えられないか。



今後有機栽培に取り組む茶畑

有機栽培転換を検討する生産者の支援に努める

A 平成29年度から輸出戦略事業の1つとして国の地方創生推進交付金を活用して、有機栽培への転換に対する補助事業を実施しています。また、次年度以降も国の持続的生産強化対策事業等にも有機栽培への転

換に対する支援がありますので、農協や静岡県などの関連機関とも緊密に連携しながら、有機栽培転換を進める生産者の支援に努めます。

災害を想定した予防的改修工事推進のための基金設立を

Q 豪雨災害などで被害が出た場合、現状復旧を行っているが、今後は、被害が生じた根本的な原因を明確にし、災害を想定した予防的改修工事を行うための「基金」を設立できないか。

既存の基金で対応できるよう検討していく

A 新たな基金の創設ではなく、3億円を目標に企業や市民に協力をいただいている「掛川市地震・津波対策寄附金」を予防的改修工事にも活用できるように検討していきます。

【その他の質問事項】

・多文化共生と外国人児童・生徒の対応について



共に創る掛川
鈴木久裕

運転免許証自主返納者等への交通手段確保の支援策拡充を

Q 現在の支援策は、バス・天浜線・タクシーの利用助成券、一年限りで1万円が限度であるが、電動アシスト車両など自力交通用具の購入助成も含め、充実していく必要があるのではないか。



どのような支援策が効果的か検討していく

A 自主返納者への支援として、県内で自力交通用具等の購入助成を行っている市町はありますが、人生100年時代を迎えるにあたって、高齢者がいきいきと行動でき、日常生活の移動手段の確保やどのよう

な支援策が効果的か検討していきます。

土地条例「飛鳥地区」まちづくり計画事業の現状と今後は

Q 県の内陸フロンティア事業の位置付けも取り下げられ、当初の住宅地開発計画は、事実上頓挫しているが、市からは地元に対しここ数年説明もない。現状と今後について、速やかに説明や協議をすべきではないか。

地元との相談も含め今後の方向性を検討していく

A 飛鳥地区まちづくり計画協定は、土地等所有者の8割以上の同意を得て、締結したものです。見直すことについては、多くの関係者との調整が必要となります。今後どのようにしていくのがよいか、検討していきます。

【その他の質問事項】

・会計年度任用職員制度の導入に関する諸課題について